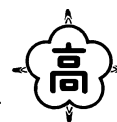




学校通信

夕陽丘 第21号



【校長挨拶】



夕陽丘のさらなる飛躍に向けて

校長 西出 博行

今年も別れと出会いの季節、4月がやってきました。3月に本校を巣立った第62期の卒業生たちは、卒業時のアンケートで「夕陽丘高校での生活は満足のものでしたか」との問いに対し、「大いに満足」が80%、「まあまあ満足」が17%、合わせると実に97%の人が「満足しました」との声を残して翔び立っていきました。これは非常に高い数値を示すもので本校3年間の教育活動の成果と言えるでしょう。大変うれしく思います。

卒業生の思いを受け継いだ在校生に対し、新年度の始業式にあたって私は、「何事もよく考えて行動することの大切さ」を強調しました。学校生活の現状を常に振り返り、「なぜ、どうしてこういう結果になるんだろう？」という原因を真剣に探る姿勢を常に持ってほしいと思います。その原因を周囲のせいにしてしまったのでは、そこから何の進歩も生まれません。原因が分かれば、その改善に向け失敗を恐れず果敢に行動してほしいものです。

「失敗はわが師なり」、これは明治の偉大な政治家、大隈重信の言葉です。人は失敗した時、もう駄目だと意気消沈して諦めてしまうのか、失敗をバネにその原因を突き止め成功へと導くのか、まさに人間としての真価が問われます。七転八起、あの起き上がりこぼしの精神が必要なのです。大隈侯は、「失敗はわが師なり」の後に次のように述べています。「失敗は私の大なる進歩の一部と心得、今なお不断に奮進しむ。理想の彼岸に達しなければ、やまざらん」

その日の午後、厳しい入学試験を突破して希望に目を輝かせた新入生が入ってきました。入学式の式辞で、「自分を取り巻くあらゆる人々と積極的にコミュニケーションを図り、人間関係を深めてほしい」ということを要望しました。要約すると次のようになります。

「思春期の心揺れ動く時期は、親との会話が疎遠になりがちですが、まずは生活の基盤となる家族とのコミュニケーションを十分に図ってほしい。次は本校教職員とのコミュニケーションです。担任の先生、教科担当の先生、部活動顧問の先生との積極的な会話を試みてください。あとはなんと言っても友達とのコミュニケーションです。学校での様々な活動を通じて、同じ学び舎に集う仲間と意欲的に交流を深めて貰いたい。高校時代に築いた友は、一生付き合える真の友となる場合が多いのです。友情の輪を大きく広げ、一生の宝となる多くの友と出会えることを願っています。」

新3年生と同じ年に本校に着任した私も、いよいよ3年目の年度を迎えることになりました。本校の学習指導の充実ぶり、学校行事の素晴らしさ、国際交流活動の積極さに確かな手応えを感じています。特に、生徒たちのパワー溢れる意欲的な活動を頼もしく思います。さらなる夕陽丘の飛躍に向け、今年度も気合を入れ全力で取り組みます。どうか皆さん、宜しくお祈りします。

春が来て メタセコイアの 新芽まぶし 夕陽の庭に 響く若人の声

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校
TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka>

携帯サイト <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka/keitai/keitai.htm>

(題字 森 敏行先生)

【第三学年】

「学び」について最終章＝頑張れ！63期生

学年主任 諸正 邦彦

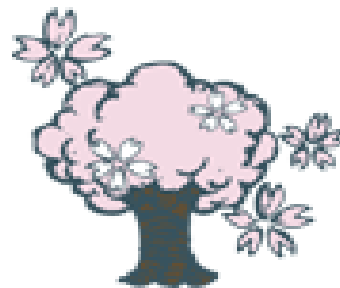
イタリア・ルネサンス期の思想家、ピコ＝デラ＝ミランドラは公開討論のための演説草稿の「人間の尊厳について」のなかで、人間は自由意志によって自分の存在のあり方を決定できると指摘しています。そしてその点にこそ「人間の尊厳」があると強調しています。ピコは「人間は小さな宇宙であり、その中には動植物性、理性、神の似姿に至るまであらゆるものが含まれている」と考え、その意味で人間が動物と異なるのは「自由意志によって何者にも、例えば神のようにも獣のようにもなることができる」と述べています。すなわち私たちの前には、無限の可能性に向かって開かれている扉があり、その扉を踏み出し歩んでいくのは、主体的な「私」なのだということをピコは指摘しています。私たちは人間として生まれ、人間になるために様々な文化的遺産を日々学び、善き人になるべく努力しています。昨年は「学び」の二つの側面について述べました。そのなかで合理主義的学びと経験主義的学びの二つを融合しなければならないということを経験として導きました。

ところで、ソクラテスの「無知の知」に大きな影響を受けたフランスのモラリスト、モンテーニュは「私は何を知るか」と問い、パスカルは「考える葦」である「中間者」としての人間のあり方を問いました。これらに共通するのは、自らの未来は自らの選択によるということです。この選択はピコやモンテーニュ、パスカルが指摘するように主体的な「私」の自己決定ですから、自らの世界は自ら切り開いていかなければなりません。選択するためには自己の中に判断基準が必要です。そのためには自己の中にいかにほどのものが蓄積されているのかの検証が必要です。その検証が謙虚さを生み、謙虚さが学びに対して真摯な姿勢を生み出すのです。学びそれ自体を目的にするのか、手段にするのかは別として、学ぶ側の姿勢がどうなのかが問題なのです。彼らは学ぶ者の姿勢としてドクサやイドラを排除し、人間の無限の可能性と人間としての生き方についてそれまでとは違う立場で未来に向かう人間のあるべき姿勢を指摘しました。学び蓄積しそれを自らのものにする努力は、例え学びが目的であれ、手段であれ同じ姿勢が求められるのです。

3年生のみなさんは、自らの主体的判断に基づいて進路選択し、進路実現のため日々精魂込めた学びの学習活動を入試のその日までやり遂げなければなりません。3年間の総決算としてのこれからの日々、自己の進路実現のための手段としての学びを行わなければなりません。しかし、この手段は「わかる」ことを積み重ねることによって目的となり得るのです。進路実現のための第1歩をどう踏み出すかは自らの決定に委ねられています。自らの判断基準に従って決定した進路を勝ち取るためには、それに至る努力が必要です。受験勉強は無味蒙昧なるものだと考えている人がいるかもしれません。しかしそれを持続し続けていく過程のなかで、「わかる喜び」を味わったとき、受験勉強は無味蒙昧なものではなく「学びわかる喜び」を味わうために努力することができるという姿勢が生まれてきます。そう考えれば受験勉強は決して苦痛ではないのです。この「学びわかる喜び」を糧として、これからの一日一日を無駄にせず「学びわかる喜び」を味わいながら、自ら決断した志望校の合格の栄冠を勝ち取るために、誠実に真摯な姿勢で精一杯の努力と頑張りを最後まで貫いて欲しいと願っています。

最後に、いつものように「日常六心」を贈ります。

- 「はい」という素直な心
- 「すみません」という反省の心
- 「私がします」という奉仕の心
- 「おかげさまで」という謙虚な心
- 「ありがとう」という感謝の心
- 「他者」を受け入れ認める慈愛の心



【第二学年】

まず歩きだそう

学年主任 榎野 理啓

人間には無限の可能性があります。

それは、自分らが人間だからということで威張っているわけではありません。実際に、人間には無限の可能性があります。なぜかという、人間は自然に働きかけ、自然を自分に役立つものへとつくりかえることをとおして生きてきました。「つくりかえる」が人間の本質です。自然をつくりかえ、自らをつくりかえて生きてきました。だから、人間は「何とでもなる存在」なのです。

ミツバチなら、百年前でも千年前でもミツバチです。勤勉かもしれませんが、その生活ぶりはずっといっしょです。何百万年、何千万という時間の中での進化ということはあっても、「年々進歩していく」なんてことはありません。それにたいして人間は、まさに日々進歩していくものです。学び、遊び、集い、語り、そうした営みの中から、何とでもなるのが人間です。

それなら、まず歩きだそう。人間には無限の可能性があるわけですから、自分の能力に限界を引く必要はありません。何かにとりかかる前に、「うまくいかなかったらどうしよう」「こうなったらどうしよう」などと、悪い展開を勝手に予想して、思案にくれていたのでは何も始まりません。「いつかそのうち始めよう」「いつか決心がつくだろう」などと、慎重にかまえていたのでは、その「いつか」は永久にこないでしょう。何かに挑戦するのは、いつでも「いま」しかないのです。

もちろん、人間には失敗がつきものです。でもそれは、まず歩きだしたから失敗するわけではなく、よく考えてから始めても失敗します。失敗したってめげないこと。「この道を選んだのは、やはり間違いだった」「だから、やめとけばよかった」などと、ウダウダ悩んでも何の解決にもなりません。「たくさんの可能性の中からこの道を消去できたのは収穫だった」とでも思って、「めげない、めげない」と自分を励まし、また歩きだせばいいのです。

【第一学年】

風かんじる65期

学年主任 草間 義彦

学年のスローガン

「風かんじる65期」この学年スローガンのもと、夕陽丘高校65期生はスタートしました。このスローガンは、夕陽丘高校の伝統「気品」「情操」の心が基本となっています。この意を心に感じて行動をしてください。「相手の立場、考えをよく理解し行動する力」「置かれた状況をよく考え、判断し行動する力」をしっかりと身につけて欲しいと思います。

秘めた力に気づくために、色々な事にチャレンジ

『サーカスのゾウは、杭を引き抜くだけの力を持っているのに、ロープに杭でつながれてじっとしています。なぜその力を発揮し逃げないのでしょうか。その答えは、ゾウは子供の頃から、鎖につながれて毎日を過ごす。小さいのでたいした力がなく、杭を抜くことができない。大きくなってからも、その思い込みにとらわれ続けている。そう「自分にはたいした力がない」と思い込んでいるからだそうです。これは、人間にもあてはまる話です。自分の限界を勝手に設定し、本来の力を発揮できずにいます。発明王エジソンは「もしも人間が自分のできるすべての事をしたら、自分でも驚嘆するほどの偉業を成し遂げられる」と言っています。』

1年生の間に色々な事に挑戦し、自分の持っている力、可能性を探ってみよう。その中で自分に自信が持てるようになるはずです。自分に自信を持つ事は、夢を切り開くための大きな武器です。

自信を持つための3つ秘訣

その一つは、他との違いを知り受け入れること。十人十色、人それぞれに価値観は違います。その違いを認め、同時に自分の良い点に気づき、自分自身を好きになること。

二つ目は、目標を持ち、行動を起こすこと。その行動から、小さな成功体験を積み重ねよう。その積み重ねが、「自信」につながります。起こした行動を続けること、続けることこそが成功なのです。

そして三つ目は、素直にあなたの成功を喜び、そして失敗を悩み考えてくる人を大切にしよう。その支えが、あなたの行動の原動力となり、あなたを成功への導いてくれるはずです。

まずは、4月30日・5月1日に行われるスプリングキャンプ（1年生宿泊研修）、目標を持ち、積極的な気持ちで活動に参加しよう。

【進路指導部】

2010(平成22)年度 入学試験合格状況 (普通科6クラス、音楽科1クラス)

** 国公立大学 **

普通科	現	浪	計
大阪大学	1		1
大阪教育大学	2		2
和歌山大学	1	1	2
富山大学	1		1
愛媛大学	1		1
宮崎大学	1		1
大阪府立大学	2	1	3
滋賀県立大学		1	1
福井県立大学	1		1
兵庫県立大学	1		1
大阪市立大学	1		1
京都市立芸術大学	1		1
計	13	3	16

音楽科	現	浪	計
東京芸術大学		1	1
大阪教育大学	5	2	7
奈良教育大学	1		1
京都市立芸術大学	3	2	5
神戸市立外国語大学	1		1
計	10	5	15

** 主な短期大学と専門学校 **

普通科・音楽科	現	浪	計
武庫川女子大短大部	6		6
大阪キリスト教短大	5		5
大阪音楽大短大部	2	1	3
京都女子大短大部	1		1
国立大阪医療センター看護学校	1		1
国立京都医療センター看護学校	1		1
大阪警察病院看護専門学校	4		4

** 主な私立大学 **

普通科・音楽科	現	浪	計
関西大学	49	12	61
関西学院大学	17	9	26
同志社大学	16	14	30
立命館大学	7	6	13
京都産業大学	4	1	5
近畿大学	82	42	124
甲南大学	7	4	11
龍谷大学	23	3	26
京都女子大学	1		1
同志社女子大学	8	3	11
武庫川女子大学	16		16
京都外国語大学	5		5
関西外国語大学	10		10
畿央大学	27	3	30
摂南大学	10	1	11
桃山学院大学	3	3	6
大阪音楽大学	11	2	13
大阪芸術大学	12		12
神戸女学院	3		3
相愛大学	3	1	4

昨年度は普通科の国公立志向が弱まりましたが、今年度は一転して地方大学にも受験者が増え、現役合格者も13名と昨年より9名増えました。地方国公立大学はいわゆる“偏差値”以上に内容が充実しています。地方への進学をもっと積極的に考えてほしいと思います。

難関私大の関関同立は、のべ合格者が130名と昨年を2名上回りました。関西大学は昨年より14名減りましたが、実合格者では逆に2名増えています。目立って増えたのは同志社大学。昨年より14名増えました。また、産近甲龍は、37名増。なかでも近畿大学は41名増と地元志向の強まりが見られます。

今年も、後期入試まで頑張って志望校に合格したという人が何人もいます。とりわけ国公立大では普通科・音楽科併せて14名が後期合格です。すべての科目にわたって最後まで授業を大切に地道に努力した現役生は、1月以降もさらに学力が伸びるという傾向がはっきりしています。

1・2年生も、授業とその予習復習がそのまま受験勉強になっているということを知ってほしいと思います。

【生徒指導部】

新年度が始まりましたが、生徒指導部が掲げる目標は生徒諸君が充実した学校生活を送る上において、基礎になる大切なものです。日々常に意識しながら学校生活を送ってください。

平成22年度年間目標

・本校生としての誇りと自覚を持つ

夕陽丘の生徒としての義務と責任をしっかり果たし、長い伝統の上に自分たちも積み重ねてゆくという強い自覚を持って学校生活を送りましょう。

・規則正しい生活をする

社会生活を送る上で時間的な縛りがないところはありません。昨年遅刻数が4000件を切りましたがまだかなり多いです。今年は3500件を下回るように一人一人が遅刻ゼロにチャレンジしてください。昨年度、何度も遅刻指導を受けた生徒がいましたが、遅刻の多い生徒は自分が遅刻することで失っている物の大きさについて今一度よく考えてください。

・思いやりのある行動をする。

昨年度も悲しいことですが、いじめや嫌がらせなどの行為が起きました。

人間は皆それぞれ違ってあたりまえです。他の人のことを尊重し、違いを認め合い、同じ夕陽丘の仲間としてみんなが気持ちよく学校生活が送れるように互いを思いやりましょう。

・マナーやエチケットを守る

他人に迷惑をかけていることに鈍感になっていませんか？

毎日の生活の中で何気なく行動していることが、実は他の人の迷惑になっていることに気がついていないことがよくあります。日常生活のいろいろな場面でマナーやエチケットを守り、正しい状況判断がきちんとできるように訓練するのが高校生の時期です。

・何事にも自ら積極的に取り組む

誰にでも得意、不得意はありますが、高校生の時期はいろいろなことにチャレンジしてください。そうすることで「人間の幅」ができてきます。受身にならず何事にも失敗を恐れず積極的にやりましょう。

○携帯電話の使用について

昨年度ルールを守らず指導を受けた生徒が30名程いました。

特に1年生は下記のようなルールを設けていますのでしっかり守ってください。

『普段からできるだけ使用しない。特に学校生活には不必要であり、使用はできるだけ控える。

もし、授業中使用した時は一旦預かり、放課後に指導します。悪質な場合は長期預かり、強い指導を行います。授業以外でも使用すべきでない状況で使用した場合は指導します。』

携帯電話は大変便利なものです。だからこそ持つ人のマナーが問われます。

保護者の皆様もこの機会に携帯電話についてご家庭で一度話あってみてください。

【国際交流委員会】

65期生のみなさん、入学おめでとうございます！夕陽丘高校では様々な形で国際交流を積極的に推進しています。今年は5月に中国から100名の高校生が来校する予定です。また、去年延期したニュージーランド英語研修も実施します。いろんな機会を利用して国際感覚を身につけてください。

今年度の予定（平成22年4月現在）

- ・ 5月25日（火） 21世紀東アジア青少年大交流計画
中国から100名の高校生来校。様々な交流イベントを企画中
- ・ 8月 ニュージーランド英語研修
- ・ 10月 64期生 マレーシア修学旅行
- ・ 平成23年3月 ウィーン音楽研修

5月25日には、中国から100名の高校生が本校を訪問します。今回の交流は2年生を中心に行う予定ですが、テスト最終日にあたるので、クラブ体験、見学や音楽科による演奏、そして体育館を利用してのアクティビティー、などを企画しています。国際交流委員を中心としていろんなプランを考えていきたいと思っております。

【音楽科だより】

♪ 特別公開講座「ショパンレクチャーコンサート」を開催（3月8日）

ピアニストとして活躍中の横山幸雄氏（上野学園大学教授）にお越しいただき、練習方法やコンサートのプログラミング、ショパンのピアノ作品等について、演奏を交えながら、具体的にお話しいただきました。

♪ 「こころの再生」音楽祭2010に出演（3月27日）

大阪府立中央図書館ライティホールで開催された音楽祭に、合唱とオーケストラが出演しました。シンガーソングライター寺尾仁志さんとの共演や、聴衆の子どもたちとの交流など、心温まるひとときでした。

◇ 今後の主な行事予定 ◇

6/12（土）12:00～16:00 第144回ピッコロコンチェルティスタ（学内演奏会）

6/14（月）15:45～17:00 特別公開講座「フルートを志して」（フルト：小山裕幾氏）

本校5階ヴィオーラホールで行います。是非お聴きください。

音楽科の第14回定期演奏会は9月26日（日）NHK大阪ホールでの開催を予定。

【保健部】

Do you know 「あおぞら」？ —相談したい人は保健室へ！！—

2010年度が始まり、一ヶ月がたとうとしています、順調なスタートでしょうか？

今年の春は気温が不安定で、桜は長く楽しめましたが、衣替えがしにくく、体調が安定しない上に新しい学年・クラス・仲間・教室・勉強など、周囲の環境が大きく変化し、戸惑いを感じていませんか？

今年も「あおぞら」は健在です。あなたと一緒に問題解決法を考えていきます。

<体調不良は注意のサイン！>

「しんどい」は、保健室へ入って来る人の第一声です。腹痛や頭痛、吐き気、食欲不振、不眠などの自覚症状全てをまとめた便利な(?)言葉です。まず、内科的なものが原因なのかを考えますが、同時に「気持ちのしんどさはないか？」も考えてみましょう。落ち着かなくて誰にも打ち明けられず、眠れない・食べられないほど本人なりに悩んでいるのかもしれない。「病は気から」ということなのでしょうね。

<我が事として考える>

人は一人では生きていけないのです。誰かと関わって、衝突したり、お互いに話し合うことで相手への理解を深め、仲間として支えあっていけるのです。学校は、社会という大きな集団へ出て行く練習の場です。同じ夕陽丘高校の生徒として、もし自分がされたら嫌なことは、相手も嫌だし、一人ぼっちも辛いのです。あなたにできることは何かをよく考えて行動してください。

<「あおぞら」が大切にしていること>

* そうなんだ！なるほど・・・

まだまだ大人になりきれない幼さを感じる人が多いのですが、真剣にその子の「想い」に耳を傾けることを大切にしています。

* 意外と・・・なんだ！

この「あおぞら」の存在も知られるようになり、保護者の方からのお話も聞かれるようになってきました。家で見せる表情と学校で見せる表情とが違っていることもあり、生徒をより深く理解する上でとても参考になります。教えてください。

* やればできる！

「あおぞら」で話をしたからといって、悩みがすぐ改善されるわけではないけれど、自分の悩みや困っていることを他人に話せたという勇気は、今後のあなたの自信になることでしょう。結果は後からついてくるのです。

「あおぞら」は、生徒一人一人が前を向いて自分の信じる道を歩いていけるよう、陰ながら応援をしていきたいと思っています。

【教務部】

千里の道も一歩から

加藤 竜也

高校数学教員という目線から、受験生の息子の様々な失敗と成功を皆さんの参考になればと思い、恥ずかしながらお知らせします。

クラブを引退するまで、模試では志望校は、E判定ばかりでした。ただ、定期考査では点数が取れていました。「便利や」と思ったら何でも誰でも利用する性格なので、人に聞くことは恥ずかしいと思わないらしく、同じクラスのできる生徒や先生にわからないことは何でも聞いていたようです。高校生にもなって親に聞くのはいやでしょうが、夜中に質問にきたりして。—— 数学は得ていたと思います。**わからんことは放置せずその日に解決することは、大切です。**自分でやれば気づくまで1時間かかることが10分で解決できれば得だと思いませんか。恥ずかしがらず、面倒くさがらずに誰にでも質問してみてください。毎日とはいきませんが、できる限りクラブ活動後に質問できる環境（学夕会館）を作っていきたいと考えています。

読書嫌いでした。センターで国語を失敗し、第1志望を逃す原因になったので vocabulary が無いことを今も悔やんでいます。このことで、国語だけでなく数学でも苦勞していました。センター試験の数学は、無意味に思える誘導設問の答えが最終解答に生きてきます。国語力のない人は特に確率などの分野で勝手な解釈をするのですぐ引っかけられます。

教科書に掲載されている作品を教科書の一部だけでなく全部読み、語彙力、表現力をつけてもらいたい。受験間際の3年にはゆとりはありませんが、1, 2年生は是非とも実行してください。新たな感動があります。古文、漢文、歴史の漫画も利用すべきです。三国志、項羽と劉邦、源氏物語、日本史、世界史などいろんな作品が劇画化されています（図書館にもあります）。全巻読むほどまでに、はまってみましょう。意外と面白いし、役に立ちます。

英語、古文の単語帳は、登下校、風呂、トイレなどの細切れの時間に集中してやり、時間を有効活用すべきです。学校で指定されている単語帳で1日10個ずつ知らない単語を構文ごと覚えると1年で3000以上の単語に触れることになります。CDがあれば必ずIPODなどに録音し、聴きながら覚えることでリスニングも鍛えられます。視覚聴覚をフルに使うこと。**音楽を聴きながらの勉強は絶対に効果は上がりません。**息子は英語単語のほうは登下校の電車でやっていたましたが、古文単語はやらなかったのが後悔していました。**受験問題は突然できるようにはなりません。**教科書レベルの問題が完全にできるようになること（定期考査で満点を狙う）、**地道な日々の習慣が支えになります。**毎日続けて習慣になればさほど苦痛には感じません。やってみてください。応援します。

【今年度の人事異動】

*転出その他

教頭 土井 一久 (東住吉高校へ)
社会科 長尾 ゆり (布施工科高校へ)
理科 片柳 政一 (柏原東高校へ)
保体科 津村 知宏 (美原高校へ)
英語科 藤本 容子 (山本高校へ)
英語科 袖口 陽子 (寝屋川学校へ)
実習助手 森山 恵 (枚岡樟風高校へ)
事務 山岡 純子 (茨田高校へ)

*転入など

教頭 宮崎 佐利 (旭高校から)
国語科 鈴木 智子 (八尾北高校から)
社会科 土井 節 (枚方なぎさ高校から)
理科 児玉 祥子 (新規採用)
保体科 川崎 義二 (和泉総合高校から)
保体科 宮崎 貞明 (砂川高校から)
英語科 森川 栄一 (山本高校から)
音楽科 山本 伸子 (視覚支援から)
実習助手 青木 直子 (枚方高校から)
事務 川添 哲哉 (農芸高校)

*上記以外にも多数の非常勤職員の皆さんにお世話になります。

【当面の日程】

全学年 4月28日(水) 午前—スポーツテスト 午後—授業
1年生 4月30日(金)～5月1日(土) 宿泊研修(滋賀県)6日代休
2年生・3年生 4月30日(金) 校外学習

(2 年)

- 1組 奈良市青少年野外活動センター
- 2組 奈良市青少年野外活動センター
- 3組 川西観光苺園
- 4組 カントリーパーク大川
- 5組 アクトランド八尾
- 6組 フォレストパーク神野山
- 7組 三田市野外活動センター
- 8組 大泉緑地

(3 年)

- 羽衣青少年センター
- 鶴見緑地
- 服部緑地
- 二色浜公園海浜緑地
- 笠置キャンプ場
- 服部緑地
- 鶴見緑地
- ハーベストの丘



【創立記念日】

*4月25日(日)は本校の104回目の創立記念日です。明治39(1906)年に大阪府立島之内高等女学校として創立され、明治42年に夕陽丘高等女学校に改称されました。

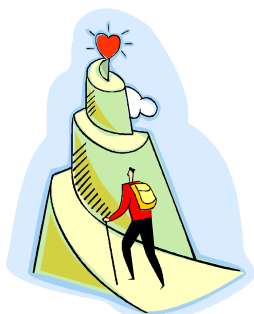
これを機会に伝統ある夕陽丘高校に学ぶことの意味を考えてみてください。

*また、本年の10月10日には同窓会(清香会)創立100周年記念行事を行います。

*本校の伝統を皆さんの力を一つにして、創っていくことを祈ります。

☆☆☆

編集後記 ☆☆☆



新しい年度が始まって、早くも一月が経とうとしています。
今日、登校の途中、見上げると、あの美しく咲いていたNTT病院の桜も散り、新緑が太陽に照らされて、キラキラと輝いていました。その下に行く人はどうでしょうか？新緑と同じように輝いているでしょうか？ちょっと、疲れてくる頃ではないですか？
そんな人は美しい新緑を見、キラキラのエネルギーをもらいましょう。頭を空に向かって、あげてみましょう。違った世界が見えてくるでしょう。いつもと違う視点を持つことの大切さを考えてみてください。